

鶴城中だより

文責 校長 船津 巧 No.17

昨日の自分に勝つ

自分の無限の可能性に気づく

「人生で競争して勝つことを目標にすれば限界を感じ自信をなくしてしまうことがあるが、昨日の自分に勝つことを目標にすれば、自分の無限の可能性に気づき、生きる意欲が湧いてくる」と聞いたことがある。

中学生の時期は、周囲からの言葉にと自分がかんがえられない人間でも敏感に反応し、時あるか、周囲の大人や友だちからのよきように見られているか非常に気にすることもある。



入場行進する生徒たち

全力で頑張りました

6月24日、25日山鹿市総合体育館にて、中学校総合体育大会夏季大会が開催されました。

応援いただいた保護者や地域の皆さんに感謝致します。ありがとうございました。

女子バレー部は3位

昨年の雪辱をと臨んだ鹿本中との対戦でしたが、またしても大接戦の末に敗れてしまいました。

鹿北中との合同チームとして、練習場所も本校だったり鹿北中だったり。



6名ぎりぎりでの出場でしたが、互いに信頼しあい励まし合う中で最後の大会となりました。

そんな時、「あなたはあなた、自信もって頑張って！」「あなたは〇〇がとてすごい、もっと伸ばしなせ！」など、相手を認め、ほめる言葉は、子どもたちが自分自身への肯定感を高めることにつながる。何ごとにも積極的に取り組む姿勢へとつながる。

子どもたち一人一人のほんのわずかな日々の成長に敏感に気づき、厳しさと優しさのバランスを図りながら、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」よう努めることがとても大切である。

この積み重ねにより、自分に自信をもち、相手の立場に立って物事を考え、周囲を大切にできる人間へと成長するのではないかな。

自分の「長所」と「短所」の両方を認め合い、互いにカバーしあう仲間づくりを目指すことが、「いじめ」を許さない人間づくりへとつながると考える。

学級や学校という集団の隙間が、まるでジグソーパズルのように埋められていくはずである。

剣道女子は2位

優勝を狙った女子でしたが、鹿本中の気迫と緊張感から力を出し切れず敗退。



力だしきれず

団体男子は一年生二

ソフトテニス部

人も出場したものの、相手が上という所か。団体戦のみが終了しているソフトテニス。今年も男女ともに、3年生が少なく、苦戦が予想されていましたが、1、2年生も持てる力を十二分に発揮し、好ゲームが展開されました。



明日、個人戦が行われます。これまでで最高の仕合を期待します。

柔道でも参加

55kg以下級で参加した大森君。積極的に攻めましたが惜敗。



研究授業

28日、2年生の国語の研究授業がありました。主体的・協働的な学習を通して、生きる力につながる学力の向上を目指しています。主張や根拠理由づけをすることで、深い学びへとつなげていきます。中井先生と2年生の頑張り。感謝します。



お疲れさまでした

山口先輩が、3週間の教育実習を終わられます。これからの社会人生活に活かしてください。

